平成 21 年度～23 年度　習志野市事務事業評価表

1．事務事業基本情報

事業名	№21　公園整備事業（芝園公園、谷津近隣公園、鷺沼城址公園の拡張）					担当課	公園緑地課		予算費目名	款	項	目
										０８	０３	０４
事業概要及び目的	芝園公園：県企業庁の幕張新都心拡大地区環境デザインマニュアルにより、配置計画され、企業庁が整備を行い、本市へ移管される。 谷津近隣公園：ＪＲ津田沼駅南口特定土地区画整理事業の宅地化に伴い、災害時における一時避難地となる公園の整備を行う。 鷺沼城址公園の拡張：鷺沼城址公園南側の企業局所管用地を自然環境を生かした公園として整備を行う。	成果目標	成果指標	整備面積		年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度		平成 23 年度	
			計画値	4.1ｈａ	芝園公園　1.5ｈａ 谷津近隣公園　2.2ｈａ 鷺沼城址公園　0.4ｈａ	予算額（単位：円）	183,950,000	253,000,000	228,500,000		192,000,000	
						決算額（単位：円）	177,958,650	252,000,000	225,621,450			
						従事職員数	2	2	2			
事業の位置づけ	章	２	都市と自然が共生したまち	★左記施策（号）との結び付き 芝園公園：県企業庁が進めている幕張新都心拡大地区の整備に沿った調和のとれた快適な街並みを形成します。 谷津近隣公園：都市緑地の創出 鷺沼城址公園：風致と歴史的景観を楽しむことのできる風致公園として、地域住民のふれあい場がもてる。		従事延べ日数	５０	５０	８０			
	節	３	美しい都市環境の創造			民間活力の導入	現状は？：□実現している　□将来可能性はある　□将来困難だが可能性はある　■余地なし					
	項	１	美しい都市環境の創造				相手は？：□市民　□市民活動団体　□企業・学校等					
	号	１	都市緑化の推進				形態は？：					

2．進捗状況

年度	21 年度評価（20 年度実施した事項についての評価） 平成 21 年７月 15 日記入				22 年度評価（21 年度実施した事項についての評価） 平成 22 年５月 31 日記入					23 年度評価（22 年度実施した事項についての評価） 平 23 年５月９日記入				
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定年度終了後	一部実施	★継続している事項、未着手事項がある理由	実施計画上の予定	実施	実施計画の予定年度終了後	一部実施	★継続している事項、未着手事項がある理由	実施計画上の予定	実施	実施計画の予定年度終了後	一部実施	★継続している事項、未着手事項がある理由
完了した事項	・芝園公園：公園整備のあり方等に係る企業庁との協議等 ・谷津近隣公園：一部用地確保 ・鷺沼城址公園：用地確保済			事業計画に基づき進めているため。	・芝園公園：企業庁による、一部の公園整備及び実施設計 ・谷津近隣公園：一部用地確保 ・鷺沼城址公園：用地確保済				事業計画に基づき進めているため。 鷺沼城址公園については、予算確保ができず、整備ができていない。	・芝園公園：企業庁による公園整備 ・谷津近隣公園：一部用地確保、基本設計 ・鷺沼城址公園：用地確保済				事業計画に基づき進めているため。 鷺沼城址公園については、予算確保ができず、整備ができていない。
継続している事項	・芝園公園：公園整備のあり方等に係る企業庁との協議等 ・谷津近隣公園：一部用地確保 ・鷺沼城址公園：				・芝園公園：企業庁による、公園整備 ・谷津近隣公園：一部用地確保 ・鷺沼城址公園：					・芝園公園 ・谷津近隣公園：一部用地確保 ・鷺沼城址公園				
未着手事項	・芝園公園：企業庁による公園整備及び実施設計の着手 ・谷津近隣公園：一部用地確保 ・鷺沼城址公園：拡張部分における整備				・芝園公園： ・谷津近隣公園：一部用地確保 ・鷺沼城址公園：拡張部分における整備					・芝園公園 ・谷津近隣公園：一部用地確保、実施設計、公園整備 ・鷺沼城址公園：拡張部分における整備				
改善案	事業計画通り進捗している。			成果指標 実績値 0.5ha　達成率 12 ％	芝園公園、谷津近隣公園は、事業計画通り進捗している。 鷺沼城址公園については、予算確保が必要。				成果指標 実績値 0.7ha　達成率 17%	芝園公園は、完了。 谷津近隣公園は、事業計画通り進捗している。 鷺沼城址公園は、予算確保が必要。				成果指標 実績値 2.4ha　達成率 59%

3．今後の方向性　※課内協議を経て管理職が記入してください。

	21 年度評価 平成 21 年７月 16 日協議実施					22 年度評価 平成 22 年６月１日協議実施					23 年度評価 平成 23 年５月 11 日協議実施				
今後の方向性 ＊根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか？なぜその「コストの方向性」をえらんだか？別紙「評価の視点」を参照してください。	成果の方向性					成果の方向性					成果の方向性				
	拡充				○	拡充				○	拡充				○
	現状維持					現状維持					現状維持				
	縮小					縮小					縮小				
	休廃止					休廃止					休廃止				
		休廃止	縮小	現状維持	拡充		休廃止	縮小	現状維持	拡充		休廃止	縮小	現状維持	拡充
		コストの方向性					コストの方向性					コストの方向性			
	★上記を選択した根拠 今後、公園の整備、公園用地の面積確保が増加するため。					★上記を選択した根拠 今後、公園の整備、公園用地の面積確保が増加するため。					★上記を選択した根拠 今後、用地確保の費用に公園整備費がプラスされるため。				
方向性を実現するため実施すること（改革案）	事業計画に基づき進める。					事業計画に基づき進める。					事業計画に基づき進める。				
前年度改革案の実施状況	■実施　□一部実施　□検討中　□その他　★実施以外は具体的に記載してください。					□実施　■一部実施　□検討中　□その他　★実施以外は具体的に記載してください。					□実施　■一部実施　□検討中　□その他　★実施以外は具体的に記載してください。				